

広報

ただみ

4

2010 月号

No. 479

平成22年4月10日



今月の表紙

4月5日は、只見・朝日・明和保育所の入所式。これからはじまる楽しい保育所の生活に、みんな目を輝かせていた。所長先生の「お友だちと仲良く、元気に遊んだり絵をかいたりして楽しく過ごしましょう」の言葉に「はい」の元気な返事がホールに響いた。

森林と生態系に関するアンケート調査結果を発表	2～3
副町長に久保克昌氏が就任 他	4～5
町芸術文化賞・スポーツ優秀選手賞・町民文芸コンクール表彰	6～10
医療・診療環境の充実を／平成22年度只見町予算	11～13
町の話	14～15

「森林と生態系に関するアンケート調査」の結果を発表します

▼「森が人の生活にもたらす恵み（森林生態系サービス）」についての学術調査が平成20年度から只見町で行われています。これは独立行政法人森林総合研究所（つくば市）と長崎大学が共同で進めているものです。

▼この研究成果の一部は、今年1月23日、季の郷・湯ら里で開催されたシンポジウム「只見の生き物たちがもたらす森の恵み」の中で報告いただきました。

▼今月号では、昨年12月、町民の皆さまに協力いただいた「森林と生態系に関するアンケート調査」の結果について、調査を担当された長崎大学環境科学部教授の吉田謙太郎先生からくわしく解説していただきます。

アンケート調査の概要

今回の調査の目的は、国内でも有数の森林生態系である奥会津森林生態系保護地域の環境価値を貨幣単位で経済評価することでした。只見町内900世帯を対象としてアンケート調査用紙を戸別配布したうちの557通（62%）が郵送回収されました。郵送回収アンケート調査としては、きわめて高い回収率です。

アンケート調査の質問項目は七つに分けられます。（一）森林との関わり。（二）森の恵みの重要性。（三）森林に生息する動植物への関心。（四）鳥獣害への考え方。（五）奥会津森林生態系保護地域に関する考え方。（六）経済評価のための選択実験。（七）年齢・性別・居住地区。

ここでは、七番目の個人属性を除く六項目を中心として、調査結果の解説を行います。

なお、只見町内で実施したアンケート調査と同様の調査を、

全国1440名を対象として、インターネット調査会社を通じて実施しました。一部、この全国調査との比較を行った結果も掲載しました。

経済評価とは？

「この豊かな自然はお金には換えられない重要なものである」。このような表現がしばしば使われます。ところが、自然環境を保護するには資金が必要であり、また個人が保護できる範囲を超える場合には、行政組織が限られた予算の中から保護政策を実施しなければなりません。そのような場合、環境保護が人々にもたらす便益を、その政策実施にかかる費用と比較する費用便益分析を実施します。もちろん、人々の生活に不可欠な道路工事などを行う場合に失われる自然環境の価値も、同様に比較することができます。

「かけがえのない、お金に換えられない自然環境」ではあ

りませんが、このように何とかお金の換算して評価する必要がありますが、米国を中心として多様な経済評価手法が開発されてきました。日本でも90年代半ば以降、環境経済学分野を中心として環境価値の経済評価に関する研究がさかんとりました。

今回、アンケート調査で使ったのは、コンジョイント分析という最新の経済評価手法です。現実社会で、自然環境を取引する市場は少ないため、経済評価を行うためには、自然環境の取引を行う仮想市場を設定し、回答者に支払意思額を尋ねます。コンジョイント分析では、基金などへの支払額と保護政策を組み合わせた仮想政策プランを複数提示し、その中から望ましいものを選択してもらいます。また、どれも望ましくないのであれば、現状維持を選ぶこともできます。今回のアンケートでは、政策プランの組み合わせを変更した質問を計6回行いました。

森林との関わり

この項目では、回答者の森林との関わりについて質問しました。キノコや山菜の採取については、「頻繁に」と「たまに」を併せると67%が採取していました。登山や山歩きについても59%が行っていました。しかし、溪流釣りは22%、狩猟3%、動物観察や昆虫採集18%とやや低

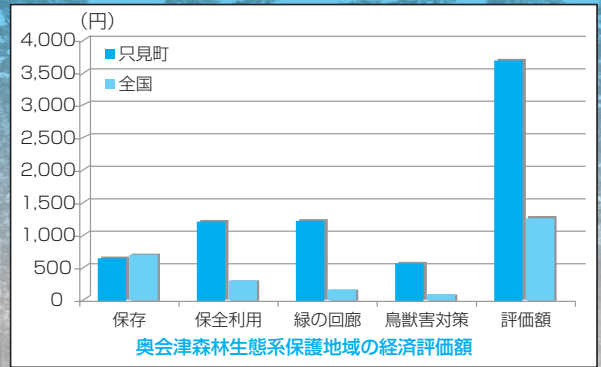
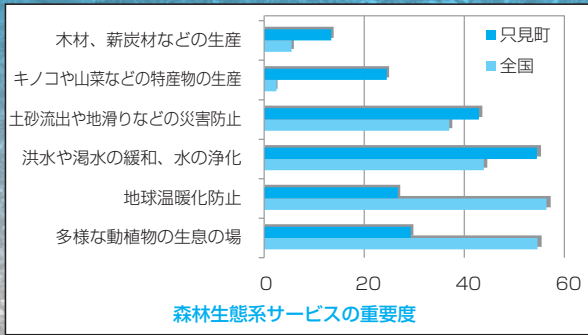
めの割合でした。ブナなどの樹木や草花の観察については45%の方が楽しんでいられることもわかりました。

回答者の中で森林や林業関係の仕事に従事している方は29%でした。また、森林を所有している世帯は72%と高い割合を占めていました。

森の恵みの重要性

森の恵みは古くから人々に認知され、森林の公益的機能や多面的機能と呼ばれてきました。最近では、森林生態系サービスという言葉でも表現されています。生態系サービスは様々ですが六種類に絞り、その中で重要と思われる二つのサービスを選んでいただきました。

グラフに示したとおり、洪水や渇水の緩和、水の浄化という水源かん養機能が55%ともっとも高くなりました。次いで、土砂流出や地滑りなどの災害防止が42%でした。他方、木材、薪炭材などの生産は14%、キノコや山菜などの生産は25%とやや低くなりました。しかし、インターネット調査による全国調査と比較すると、只見町の回答者は木材やキノコ、山菜などを高く評価し、地元以外の人々は動植物の生息の場や地球温暖化防止の役割を高く評価しているという結果が得られました。



森林の動植物への関心

森林に生息する動物7種類、植物3種類についての関心を尋ねました。「大変関心あり」と「やや関心あり」という回答を併せると、ブナやミズナラなどの地域を代表する樹木が76%とものっとも高く、次いで魚類が73%でした。スギやカラマツなどの植林された樹木は63%、哺乳類は62%、鳥類は59%でした。他方、爬虫類は28%、両生類は41%、昆虫類は50%であり、やや関心が低かったのが特徴的でした。

鳥獣害への考え方

鳥獣による人身や農作物などへの被害について、28%が「かなり深刻である」と回答し、45%が「やや深刻である」という回答でした。深刻な被害をもたらす鳥獣としてニホンザルを挙げた回答者が69%にのぼり、次いで鳥類24%、ツキノワグマ20%、シカ16%、イノシシ4%でした。それ以外には、ハクビシンの被害を挙げた自由回答も多数ありました。鳥獣被害への有効な対策としては、「野生生物の餌となる生ゴミや収穫物残渣などの適正な管理」が57%と圧倒的に多く、次いで「罠の設置による捕獲」35%、「防護柵の設置」28%、「隠れ家となる藪などの刈り払い」22%となりました。

奥会津森林生態系保護地域(注1)に関する考え方

奥会津森林生態系保護地域について、「詳しく知っている」と回答した人は9%であり、「聞いたことはある」が56%でした。また、厳格に立入が禁止される保存地区の拡大を望む人の割合は24%でした。保全を優先しつつも利用を禁止しない保全利用地区の拡大は29%、保全に配慮しながらも利用制限を設けない緑の回廊の拡大は31%でした。しかし、約3分の2の回答者はすべての地区について現状維持を選択しました。

経済評価のための選択実験

選択実験は、保護計画1〜4の中から回答者が一つを選択していただく形式です。選択結果を集計し、統計分析を行うと評価額がわかります。奥会津森林生態系保護地域回答者1人当たりの年間評価額(支払意思額)は次のとおりです。保存地区7,715haは664円、保全利用地区76,175haは1,225円、緑の回廊161,798haは1,238円、そして鳥獣害対策地区を仮に500ha設定すると580円になりました。この結果を、インターネットによる全国調査結果と比較しました。グラフに示したとおり、保存地区はほぼ同等の評価額になりましたが、それ以外の利用

を伴う対策については、地元以外の人々の評価額は低くなりました。鳥獣害対策は仮の対策です。除外し、保存地区、保全利用地区、緑の回廊への評価額を合計すると、1人当たり年間3,127円でした。この金額に全世界帯数を掛けると町全体では約600万円の評価額となります。なお、全国調査の結果は1人当たり年間1,168円であり、全世界帯数を掛けると、約600億円となりました。

まとめ

アンケート調査結果から、地元の人々だけでなく、地元以外の人々も奥会津森林生態系保護地域について高い評価を与えていることがわかります。しかし、只見町の方々は保全と利用の両立、そして厳格な保護の重要性を理解していますが、地元以外の人々は厳格な保護を望む傾向のあることがわかりました。このことから、全国規模で自然保護について議論をした場合、人口の圧倒的な違いが、地元の意見を抑えてしまう構図になりかねないことも理解されます。

今年10月に名古屋で開催される生物多様性条約締約国会議に向けて日本政府は、里山のように人手が加えられなくなったことによる生物多様性の喪失を強調しています。つまり、森林保護だけでなく、人々の伝統的な利用による持続的森林管理が

期待されていると言えます。今回の調査結果は、2月18日、東京で開催された「生物多様性と経済・ビジネスに関する国際シンポジウム」において報告したところ、高い評価を得ました。TADAMITSU(町名が国際的な報告書に掲載される可能性もあります。なお、今回のアンケート調査結果では、「基金に対していくら支払うか?」という形式の質問を行いました。これはコンジョイント分析の典型的な質問方式であり、経済評価を行うことだけが目的です。この金額をもとに個人に寄付を求めなどの行為を一切行うものではないことを追記いたします。なお、今回のアンケート調査は、環境価値を経済的に評価することにあるため、わかりにくい内容となり、記入にはたいへんなご苦労をおかけしました。皆さまのご協力に改めて感謝申し上げます。(長崎大学教授・吉田謙太郎)

(注1) 森林生態系の保全、野生動植物の保護、生物遺伝資源の保護などを目的として、国有林のなかで原生的な生態系が保持されている森林を指定したものです。保存地区と保全利用地区に分けられます。只見町、金山町、檜枝岐村、南会津町の旧伊南村、旧館岩村にまたがる国有林83,001haは、林野庁によって奥会津森林生態系保護地域として指定されています。これは、全国29カ所にある保護地域の中で最大の面積を誇ります。

副町長に 久保克昌氏が就任



▲辞令を受ける久保克昌氏

3月10日から19日に行われた平成22年第1回定例会3月会議において議会の同意がなされ、副町長に久保克昌氏(45)が選任されました。

辞令交付式は4月1日に役場本庁の町長室で行われ、目黒町長から久保氏に辞令書が手渡されました。

その後、就任式が議場で行われ、目黒町長は「お互いに切磋琢磨し、町政発展のため新たな視点でご尽力いただきたい」と歓迎の言葉を述べました。続いて、久保氏はあいさつで「職員皆さんと力を合わせ、町の発展に貢献していきたい」と述べました。

久保氏は、郡山市出身で3月末まで福島県企画調整地域政策課に勤務されています。只見の生活に早く慣れていただきたいと思えます。よろしくお願いします。

土地改良特別功労者表彰

前只見町長の小沼昇氏(黒谷)が、平成21年度土地改良特別功労者として福島県土地改良事業団体連合会の表彰を受けられました。小沼氏は平成9年1月から平成21年3月までの間、只見町土地改良区理事長として、また平成15年4月から平成21年3月まで、福島県土地改良事業団体連合会の理事として只見町の土地改良事業及び、福島県土地改良事業の推進活動などに積極的に取り組まれた功績が認められました。

また現在、只見町土地改良区監事の日黒良樹氏(熊倉)は土



▲特別功労者「小沼昇」氏

地改良功労者として表彰を受けられました。表彰式は、3月25日に福島県土地改良会館で行われました。

只見町固定資産評価審査委員会 委員に舟木氏と本名氏

4月1日に、役場本庁の町長室において、舟木和一氏(小林)と本名保美氏(黒谷)に目黒町長から辞令書が交付されました。任期は平成22年4月1日から平成25年3月31日までの3年間です。

審査委員は三名で、酒井竹男氏(只見)の任期は平成20年10月1日から平成23年9月30日までです。



▲本名保美氏(左)

▲舟木和一氏(左)



▲辞令を受ける団長の鈴木好行さん

只見町消防団の団長に4月1日付けで鈴木好行さんが就任されました。鈴木さんは、昭和55年4月に消防団に入団し、班長、部長、分団長などを務めた後、平成18年から副団長を務められました。

前団長の馬場光男さんは、団長として1期4年間にわたり只見町消防団の先頭に立って、予防消防の推進などに努められました。消防団活動へのご尽力、本当にご苦労様でした。

新団長に
鈴木好行さん
(只見)
只見町消防団



副団長
星 正春 (小林)



副団長
本名 誠 (黒谷)



副団長
三瓶 一也 (寄岩)



団長
鈴木 好行 (只見)

訓練分団長	目黒 邦友
訓練副分団長	梁取 克昌
只見地区庶務部長	五十嵐良平
朝日地区庶務部長	五十嵐貴則
朝日地区予防部長	横山 伸成
朝日地区庶務部長	目黒 公俊
明和地区予防部長	矢澤 元則
明和地区庶務部長	菅家 英祐
第1分団分団長	酒井 雅喜
第1分団副分団長	新國 善記
第1分団訓練部長	鈴木 尚基
第1分団機械部長	鈴木 尚
第2分団分団長	酒井 正直
第2分団副分団長	馬場 芳也
第2分団訓練部長	岩淵 秀一
第2分団機械部長	吉田 晃男
第3分団分団長	渡部 克哉
第3分団副分団長	渡部 文彦
第3分団訓練部長	目黒大 四郎
第3分団機械部長	小沼 高守
第4分団分団長	本名 高喜
第4分団副分団長	山中 美明
第4分団訓練部長	船木 智
第4分団機械部長	五十嵐 一彦
第5分団分団長	五十嵐 敦彦
第5分団副分団長	目黒 五生
第5分団訓練部長	印南 正和
第5分団機械部長	大竹 信広
第6分団分団長	佐藤 長次
第6分団副分団長	飯塚 克夫
第6分団訓練部長	馬場 幸宣
第6分団機械部長	馬場 祐二

只見町消防団新体制

平成22年4月1日付けで、只見町消防団の新体制が次のように決定しました。

只見町での火災発生件数

年度	16	17	18	19	20	21
発生件数	2	4	0	1	4	4

*たき火などによる火災が特に増加していますので、ご注意ください。

いのちを守る3つの習慣！

- ① ストープは燃えやすいものから離れた位置で使用する！
- ② ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す！
- ③ 寝たばこは、絶対やめる！

十分注意しましょう。



第39回の雪まつりは、平成23年2月12日、13日に決定

3月4日、只見地区センターで第38回只見ふるさとの雪まつり第3回実行委員会が開かれ、2月13日と14日に開催された雪まつりの実施報告と意見交換を行いました。

二日間天候に恵まれた今回、入場者数は21,000人でした。委員からは、「まつりのPRを早めに行いたい。テレビによるPRを検討してほしい」などの意見が出されました。

実行委員会は第39回の雪まつり日程を「平成23年2月12日(土)、13日(日)」とすることを決定しました。

日々の努力と 成果・優秀作品を表彰

町芸術文化賞・スポーツ優秀選手賞 町民文芸コンクール 表彰式



▲入賞者全員に表彰状が渡されました。

平成21年度只見町教育委員会芸術文化賞・スポーツ優秀選手賞表彰式と、第33回只見町民文芸コンクール表彰式が、3月13日に只見地区センターで行われました。

表彰式では、はじめに芸術文化賞の2グループ6名、スポーツ優秀選手賞の6名と4団体が表彰を受けました。
続いて町民文芸コンクール4

部門（作文・詩・短歌・俳句）276点の応募作品の中から審査の結果選ばれた、優秀作品の入賞者が、表彰を受けました。

齋藤修一教育長は、「①積み上げてきた力をさらに研鑽し伸ばしてほしい。②今回取り組んだすばらしさや楽しさを多くの人に知らせてほしい。③表彰を受けたことを30年40年後の子どもたちに伝えてほしい。この活動が文化の広がりにつながり、豊かな文化の町に発展します」とあいさつをしました。

町民文芸コンクールの講評で、三宅友也文芸コンクール作文部門審査委員長は、「まず人の話を良く聞くこと。これが書くことの基礎になります。次に新聞や本などを読むこと。そして日誌や日記などを書くこと。これをやってください。来年はさらに良い作文ができることを期待します」と述べました。
町民文芸コンクールの各部門の特選作品をご紹介します。

短歌部門

小学校下学年の部特選 只見小2年 せきやえりかさん



雪の音 ピアノのドレミが
聞こえるよ 白くてつめたい
アイスクリーム

小学校上学年の部特選 朝日小5年 渡部 優花さん



夕ぐれを 急いで帰る
暗い道 おかえりなさいが
こころにしみる

中学生の部特選 只見中3年 五十嵐 愛さん



ヒュルルル 山の上から
届けます 色とりどりの
落ち葉の手紙

高校生の部特選 只見高2年 菅家 江理奈さん



腕広げ 助走をつける
空を飛べ 雲を手にする
鳥になるまで

一般の部特選 黒谷 目黒 富子さん



夜半出て 稲架にかけたる
いね寄せて 台風通る
道を空けおく

特選

作文部門 小学校下学年の部

どんぐり

只見小3年 大塚 琴美さん



日曜日の朝のことでした。タンスの中の赤い服を着たら、ポケットの中に何か入っていました。出してみると、どんぐりでした。わたしは、お母さんに、「ポケットにどんぐりが入っていたよ。」と、どんぐりを見せに行きました。すると、お母さんは、「琴美はドジだからポケットに入れたまかせたくしたんでしょ。」と、一言だけ言って朝ごはんのしたくを続けました。いつものことだけど、相手にされていらないような感じがしました。

わたしは、台所を出て、お庭に行きました。それから、そうっとしゃがみました。わたしは、ひみつのことをします。どんぐりを庭にうめるのです。お母さんには、ないしょなのです。大きくなったどんぐりを見せて、お母さんをビックリさせたいからです。でも、初めからピンチでした。あなをほるためのシャベルは、台所にあるのです。シャベルを取りに行ったら、ぜったいお母さんにあれこれ聞かれてしまいます。わたしは、こまりました。キョロキョロまわりを見ていたら、えんの下

にスコップを見つけました。わたしは、うれしくなって、スコップを使ってあなをほりました。小さくあいたあなに、ポトリとどんぐりを落としました。ピカピカ光る茶色のどんぐりでした。わたしは、そっと土をかけました。大きくなったどんぐりの木でしてみたいこと。まずは、太いえだにブランコを作ること。それから、木に登って高いところからきれいなけしきを見ること。どちらも気持ちよさそうです。わたしは、わくわくしました。昼すぎ、うめたはずのどんぐりを、お母さんが持つてきました。わたしは、ギョッとしました。「あんな車庫の近くにうめたら、大きくなって車庫にぶつかって、大変なことになるでしょ。」おこったように言っていました。お母さんは、ほり起したような土を見つめ、ほつてみたらどんぐりが出てきたと言いました。すぐにわたしがやったことだと思つたそうです。見つかつてしまつて、がっかりしてしまいました。けど、お母さんは、「お水を入れたびんの中にどんぐりを入れてあげるから手伝つて」と、言つてくれたので、わたしはうれしくなりました。お母さんといっしょに、台所で作業をしました。お母さんが用意した小さなびんは、上の方が細くなつていたので、どんぐりのとがった方を下にする、すぼつと入ります。びんに水を入れて、どんぐりをびんにおきました。どんぐりの先っぽが水の中に入り、頭の上の方が水の上でできるようにになりました。どんぐりにびつたりのびんです。びんは、とう明なので、どんぐりから根が生えてきてもすぐにわかります。さすが、お母さんです。わたしは、またわくわくして、「明日が来い。早く明日が来い。」と思ひました。とても楽しみでした。

次の日、白っぽい小さい小さい芽が、顔を出していました。すぐくすぐくうれしくなりました。この小さな芽が、どんぐりの太い木になるなんて信じられません。わたしは、どんぐりを、げんかんにおいておくことにしました。毎日かんさつして、大きくなるように世話をしたいと思います。

どんぐりの木で、木登りとブランコができる日を楽しみにしています。それは、わたしが、何才の時だろう。

俳句部門

小学校下学年の部特選 只見小1年 めぐるたくみくん



かまきりが
こわい目つきで
いかつてる

小学校上学年の部特選 只見小5年 目黒 翼くん



マフラーを
首にかけたら
飛んでつた

中学生の部特選 只見中1年 高木 菜穂さん



おしりから
ホタルのいのち
ピカピカと

高校生の部特選 只見高3年 目黒 雅人さん



稲刈りに
重ねて見るは
我が人生

一般の部特選 黒谷 船木 トモ子さん



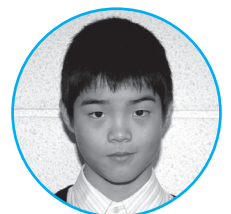
男孫の
都合に合わせ
コンバイン

特選

作文部門 小学校上学年の部

韓国旅行から学んだこと

只見小6年 田中 直人くん



ぼくは家族四人で、八月五日から八日にかけて、韓国旅行に行ってきた。海外に行くのは初めてで、出発は朝の五時なのにねむくなかった。とても興奮していた。そして、新潟空港から飛行機に乗って、ソウルのインチョン空港に着いた。

韓国では、世界遺産を見たり、シヨを見たり、市場で面白い物をしたり、韓国料理を食べたりしているうちに四日がすぎた。

一つ目は、テコンドーの動きを取り入れたシヨの「ジャンプ」だ。バック転や跳びげりなどを連続でやったり、しかけをつかって楽しませたり、かべをつかって高く飛んで一回転したりして、とてもかっこよかった。お客さんを喜ばそうとするサービスピ精神がおう盛でとてもすばらしかった。韓国特有のテコンドーを、他の国の人をも楽しませるシヨにしたのがすごいことだと思った。ものすごい量の練習をしたから、できるようになったのだと思う。プロになる人は難しいことでも、あきらめ

ないで努力する人だ。ぼくには何ができるだろうと考えさせられた。

二つ目は、世界遺産の宗廟に行ったことだ。日光の東照宮に似ていたが、もっと大きく色が派手だった。この宗廟は、豊臣秀吉がせめてきたときに焼け落ち、復元したものらしい。宗廟以外の建て物も、豊臣秀吉がせめたときに焼け落ちたものが多いそうだ。ぼくは、すばやい決断をし、行動にうつす豊臣秀吉が好きだが、こんなことをしたとはちっとも知らなかった。豊臣秀吉が韓国の大切な建て物を燃やしたのがショックだった。時代の様子が複雑だったことは、僕の想像をはるかにこえていた。

宗廟にはたくさんのお部屋があった。王様が生活していた部屋も、政治をしていた部屋も、とても大きくて壁画や家具がごうかだった。王様がどうやって暮らしていたのか、少しだけ分かった。当時の王様は、とても権力があつたのだと思つた。

三つ目は、地下鉄に乗ったことだ。券売機は、韓国語、英語でかいてあつた。なので、全く文字が読めず、どうしたらいいか分からなかった。だから適当に左上のボタンをおしてみた。そうしたら、切つぷが出てきて地下鉄に乗れた。乗って座る場所を探していたら、一つ先の駅に着いた。切つぷがどこまで買つてあるのか分からなかったから、そこで降りた。父や母も分からなかったし、怖くてそれ以上乗っていられた。乗つていた時間は、ほんの一、二分だった。その後、地下鉄に乗つた場所まで歩いてもどつた。お金を多くはらいすぎたぶんを自動はん売機ではらいもどした。

日本の駅の券売機には、韓国語の表示はない。日本に来ている韓国の人も、文字が読めずに切つぷを買っているのだと思つると、とても不便で大変だと思つた。海外に行っている人はとても苦労することを初めて知つた。

四つ目は、地下鉄のミヨンド

ン駅を出ようとしたとき、韓国人の男の人がとぜん父に話しかけてきたことだ。その人は父に、「日本の方ですか。」

と日本語で聞いてきた。その後、父と母と男の人が、英語で会話を始めた。父が年を聞いたら十六才だった。高校生だと思つたら中学生だった。韓国では、十六才は中学生なのだろう。男の人は父にメモ帳をわたし、日本語で名前を書くように言ってきた。そして、僕も母に言われて、英語で、「名前を書いてください。」

と言つた。そのときに、ハンギン（ハン・ギ・シユ）という名前だと分かつた。きん張したが、韓国の人と話すことができて、良い経験になった。ハンギシユさんはどんな気持ちで、僕たちに話しかけてきたのだろう。ほかなら外国の人に話しかけることはできない。だからハンギシユさんのしたことは、とても勇気のあることだと思つた。その後、ハンギシユさんの友達三

人も入れて写真をとつた。ぼくも英語を勉強して、日本語が話せない外国の人と話せるようになりたいと思つた。

韓国旅行はとても楽しかつた。日本にいと外国語の大切さはまだあまり感じないが、ぼくたちが大人になるころには必ず必要になってくるだろう。ソウルは日本の東京とまったく変わらないように見えたし、ほとんどの場面で日本語、英語が通じた。日本で韓国語を話せる人はあまりいないだろう。

キムチやなべ料理、やき肉などの食べ物や建て物など、日本との文化のちがいがはだで感じられた。

この旅行で、海外には、日本とちがうことがたくさんあることが分かつた。ぼくものんびりしてはられない。中学卒業までに、英語の日常会話ができるようになり、もう一度韓国に行つてためしてみたい。

おめでとう!

第33回町民文芸コンクール入賞者

(敬称略)

【作文部門】

■小学校下学年の部

- ◎特選 大塚 琴美 (只見小3年)
- ▽入選 さとうみず (只見小2年)
- まつしりく (朝日小1年)
- ▽佳作 こばやしせい (只見小1年)
- ばん内夏海 (只見小2年)
- ばば まこ (明和小1年)
- 布沢 陽斗 (明和小2年)

■小学校上学年の部

- ▽入選 伊藤 舜 (朝日小5年)
- 五十嵐高弥 (明和小6年)
- ▽佳作 飯塚 春輝 (明和小4年)

■中学生の部

- ▽佳作 小椋 茉悠 (只見中2年)

■高校生の部

- ▽入選 加藤 旭祥 (只見高1年)
- ▽佳作 渡部 千春 (只見高3年)
- 菅家多恵子 (只見高2年)

【短歌部門】

■小学校下学年の部

- ◎特選 せきやうりか (只見小2年)
- ▽入選 さかいとまほ (只見小1年)
- ▽佳作 新國かすみ (只見小3年)

■小学校上学年の部

- ◎特選 渡部 優花 (朝日小5年)
- ▽入選 吉津 悠真 (朝日小5年)
- ▽佳作 酒井 りな (只見小6年)
- 島谷 拓実 (只見小6年)

■中学生の部

- ◎特選 五十嵐 愛 (只見中3年)
- ▽入選 五十嵐真澄 (只見中1年)
- ▽佳作 馬場 信治 (只見中2年)
- 高木 菜穂 (只見中1年)

■高校生の部

- ◎特選 菅家江理奈 (只見高2年)

■一般の部

- ▽入選 栗城 稔史 (只見高3年)
- 菅家しのぶ (只見高3年)
- ▽佳作 菅家多恵子 (只見高2年)
- 目黒結衣香 (只見高1年)

■一般の部

- ◎特選 目黒 富子 (黒谷)
- ▽入選 吉津久仁子 (黒谷)
- 渡部 ミヤ (小川)
- ▽佳作 目黒ミツル (只見)
- 五十嵐夏美 (福井)

【俳句部門】

■小学校下学年の部

- ◎特選 めぐろたくみ (只見小1年)
- ▽入選 新國 潤平 (只見小3年)
- 吉津 はる (朝日小3年)
- ▽佳作 五十嵐貴哉 (只見小3年)
- 川合 未来 (只見小3年)

■小学校上学年の部

- ◎特選 目黒 翼 (只見小5年)
- ▽入選 目黒 悠 (只見小4年)
- 鈴木 遥大 (只見小4年)
- ▽佳作 酒井康太郎 (只見小6年)
- 馬場 彩香 (只見小6年)
- 渡部 瑠唯 (朝日小5年)

■中学生の部

- ◎特選 高木 菜穂 (只見中1年)
- ▽入選 増田 快 (只見中3年)
- 菊地 優 (只見中3年)

■一般の部

- ▽佳作 菅家 将志 (只見中2年)
- 樋口 俊陽 (只見中3年)
- 大竹 妃菜 (只見中2年)

■高校生の部

- ◎特選 目黒 雅人 (只見高3年)
- ▽入選 本名 英樹 (只見高3年)
- 五十嵐梨紗 (只見高2年)
- 山井 雅美 (只見高1年)
- ▽佳作 本名 麻美 (只見高3年)
- 渡部 千春 (只見高3年)

■一般の部

- ◎特選 船木トモ子 (黒谷)
- ▽入選 五十嵐夏美 (福井)
- 渡部 直江 (福井)
- 新国 洋子 (只見)
- ▽佳作 吉津 佑 (只見)
- 馬場 隆堂 (塩ノ岐)

- ### ■小学校下学年の部
- ▽入選 はがゆう大 (只見小1年)
 - ▽佳作 きつはやま (朝日小1年)
 - わたなべしゅん (朝日小1年)

【詩部門】

- ### ■中学生の部
- ▽入選 馬場 千歳 (只見中3年)
 - 目黒 愛華 (只見中3年)
 - 横田 萌 (只見中2年)
 - 飯塚かすみ (只見中2年)
 - ▽佳作 渡部 美咲 (只見中2年)
 - 渡部 拓 (只見中2年)

- ### ■小学校上学年の部
- ◎特選 渡部 優花 (朝日小5年)
 - ▽入選 吉津 悠真 (朝日小5年)
 - ▽佳作 酒井 りな (只見小6年)
 - 島谷 拓実 (只見小6年)

- ### ■中学生の部
- ◎特選 高木 菜穂 (只見中1年)
 - ▽入選 増田 快 (只見中3年)
 - 菊地 優 (只見中3年)



▲作文部門、小学校下学年の部で特選の「大塚琴美」さん

おめでとう!

平成21年度芸術文化賞・ スポーツ優秀選手賞受賞者 (敬称略)



▲スポーツ優秀選手賞の「只見ガッツスポーツ少年団」

芸術文化賞受賞者

◎菅家いつみ・吉津帆船・星真穂・
本名未幸(朝日小6年)

|| 第59回福島県統計グラフコン
クール統計協会名誉会長賞

◎吉津千晶・渡部早紀(朝日小
6年)

|| 第59回福島県統計グラフコン
クール統計協会名誉会長賞

スポーツ優秀選手賞受賞者

◎小林祐太(只見中3年)

|| 第52回福島県中学校体育大会
スキー競技大会男子クロスカ
ントリー(フリー)第2位

◎菊地祥代(只見高2年)

|| 福島県高等学校新人体育大会
会津地区大会陸上競技女子円
盤投げ第1位

◎長谷部道太(只見高2年)

|| 福島県高等学校新人体育大会
会津地区大会陸上競技男子走
幅跳び第1位

◎梁取那緒(専修大学)

|| 第62回福島県総合体育大会ス
キー競技GS成年男子A第2
位

◎新國健道(只見町スキークラブ)

|| 第62回福島県総合体育大会ス
キー競技GS成年男子B第2位

◎岩佐俊祐(只見町スキークラブ)

|| ゼビオスポーツコンビネーションス
キー大会GS一般の部第2位

◎只見ガッツスポーツ少年団5
3年生

(目黒翼・新国拓真・菅家雄矢・
五十嵐蓮・新国陸・鈴木道也・
目黒悠・鈴木遙大・五十嵐夏希・
目黒史也・鈴木翔・五十嵐貴哉・
目黒温)

|| 第1回ふくしま小学生スポーツ
フェスタソフトボール第3位

◎只見中学校野球部3~1年生
(五十嵐大貴・川合祥太郎・佐
藤翔太・三瓶志門・馬場健・
渡部晃大・大竹大和・吉津翔大・
小林祐太・目黒岳・矢澤明宏・
渡部勇也・渡部大輝・五十嵐慧・
五十嵐浩佑・大澤佑汰・鈴木
達也・長谷川将樹・長谷部英
樹・馬場信治・横田開・渡部
拓・飯塚拓真・飯塚涼・大澤
宏汰・菅家将志・中野翔・馬
場瞭・目黒公太郎・目黒裕次郎・
小椋翔・黒田竜二・馬場光弘・
目黒郷・柳下一貴・渡部春樹・
河原田亮太・新国尚佑・馬場
康平・目黒健太・山田祐斗)

|| 第57回全会津中学校総合体育
大会兼第51回福島県中学校総
合体育大会会津地区予選会軟
式野球大会第1位

◎只見中学校バレーボール部2
~1年生

(大竹妃菜・山内菜緒・飯塚か
すみ・小椋茉悠・渡部美咲・
五十嵐菜奈・五十嵐真澄・馬
場美月・山内香純・高木菜穂・

馬場美樹・湯田美来)

|| 平成21年度福島県中学校新人
大会第31回福島県中学生バ
レーボール選手権会津地区大
会第1位

◎球友クラブ

(長谷川清之・馬場大輔・佐
藤隆一・藤田喜郎・小林拓矢・
五十嵐譲・馬場聡・松永孝
一・五十嵐健司・長谷部貴一・
近藤雄基・藤田久幸・新國健道・
吉津高弘・中野玄・大竹孝宏・
山田竜巳・鈴木僚)

|| 高松宮賜杯第53回全日本軟式
野球(I部)福島県大会会津
地区予選第1位、第51回福島
県早起き野球大会会津大会第
1位

|| 只見中学校バレーボール部2
~1年生

(大竹妃菜・山内菜緒・飯塚か
すみ・小椋茉悠・渡部美咲・
五十嵐菜奈・五十嵐真澄・馬
場美月・山内香純・高木菜穂・

馬場美樹・湯田美来)

|| 平成21年度福島県中学校新人
大会第31回福島県中学生バ
レーボール選手権会津地区大
会第1位

◎球友クラブ

<各賞の表彰基準>

芸術文化賞の表彰基準は、全県のコンクール等で最上位、東北地方のコンクール等で上位3位相当以内、全国のコンクール等で上位5位相当以内です。

スポーツ優秀選手賞の表彰基準は、全会津の大会で1位、全県の大会で3位以内、東北地方およびそれに準ずる大会で6位以内、全国の大大会で10位以内です。

年間計画の進行状況の一部 (別表)

項目	改善内容
午後外来の開始	▷午前の混雑さの改善 ▷夜間受診者の減
訪問診療の分担 および訪問日の明確化	▷3人で地区ごとに分担 ▷次回までの処方日数の明確化 ▷効率よく訪問できることによる件数の増
院内意見箱の設置	▷玄関前に意見箱を設置 ▷患者さんの意見を聞き情報の共有・検討
年間スケジュールの作成	▷年間スケジュールの作成 ▷行事の把握が容易
院内採血検査の統一	▷採血項目を統一 ▷事務手続きの簡素化
療養病床の期限化	▷半年を上限とし、平等な患者受け入れ ▷退院に向けケアマネージャーとの連携強化
入院時一般検査の導入	▷入院時検査項目の統一
院内BGMの開始	▷AM9:00～PM5:00までBGMを放送し院内の雰囲気改善
外来、こぶし苑、只見ホームの方の情報要約	▷カルテ棚の整理 ▷病歴が整理 ▷急変時等の情報把握が容易
紹介状・主治医意見書等の電子化	▷データ管理により手書きの煩雑さの解消
外来処方箋の見直し	▷処方欄の紙の色を変更し薬を整理 ▷事務手続きの簡素化
病棟会議	▷毎週月曜に会議を開催 ▷スタッフ間で情報の共有化を図り課題解決
各種委員会	▷医師・看護師・事務で委員会を開催し課題解決(医療安全・感染対策・医療機械・薬品)
各種マニュアルの作成	▷委員会におけるマニュアル作成 ▷必要に応じた改訂を図ることが可能
看護部会	▷月1回定例化し有意義な会議開催
入院担当医師の明確化	▷担当医師を決め説明責任医師が明確
訪問看護との連携	▷連絡ノート作成により患者情報を共有

医療・診療環境のさらなる充実を目指して。。。。

地域医療の充実を目的として、昨年4月より常勤医師3名体制をとり、診療に当たるといふ新体制から一年が経過、朝日診療所は皆さんの安心を維持するため、皆さんのご要望に対応しながらこれからも努力していきます。

朝日診療所が新体制となり一年が過ぎました。昨年度、住民の皆さんが安心して生活できるよう、また、心身ともに健康で生活できるように、職員一同努力してきました。町内で救急要請があった際の受け入れがほぼ100%である

ため、救命処置にも力をいれつつ、南会津・会津若松の二次・三次病院との連携も強化してきました。故・院内感染等が起こらないよう、また、医療器械の定期メンテナンスが円滑に行えるようにしました。

職員が安全に、充実した職務が遂行できるよう、人員配置等の改善を行いました。診療所内の財政を圧迫させないよう、医療機関は赤字で当たり前の考

えは捨て、経費削減について職員一丸となり取り組み、現在少しずつその結果が出てきています。豪雪地帯で高齢化が進み、大きな病院まで二時間かかる、町唯一の医療機関である、といった厳しい環境を逆に生かし、医学生・研修医・救急隊員の「地域医療」の研修施設として利用し、充実した研修を行っております。今年度も引き続き研修を継続していきますので住民の皆さんのご協力をお願いします。

その他、昨年度の具体的な診療所の活動内容については別表のようにありますが、結果として、良い方向に進んでいるのではないかと考えております。

(朝日診療所 所長 佐竹 秀一)

今後とも、ご指導・ご支援をよろしくお願いいたします。

今後も現在の医師診療体制を継続し、数年前に起こった「無医村」状態が二度と起こらないよう、住民の皆さんと協力しながら、地域のニーズに合った診療所を運営していく必要があります。

そうして地域に見守られながら成長していく診療所こそ、本当の町の診療所の姿であると思えます。

将来、この只見町が日本の地域医療のモデル地区となることを願っております。

■平成22年度の主な事業

■住民と行政が協働するまちづくり

- 集落・地区センターなど住民交流を主体とした地域づくり
 - 1,187万円 まちづくり推進事業(3地区センター)
 - 450万円 町づくり事業補助金(3地区センター)
- 情報通信基盤の整備
 - 207万円 テレビ難視聴地域解消事業費補助金
- 総合的な土地利用・交通体系の確立
 - 1,893万円 新多目的交通システム運営補助金
 - 894万円 地域公共交通運行事業

■自然に感謝するまちづくり

- 雪と共存するまちづくり
 - 9,626万円 町道・歩道除排雪経費
 - 350万円 除雪支援事業給付費
 - 1,150万円 雪まつり実行委員会補助金
- 水環境の保全と上下水道の整備
 - 2,340万円 合併処理浄化槽設置補助金(26基)
 - 1,120万円 合併処理浄化槽排水管敷設事業
- 環境衛生の充実
 - 9,464万円 西部環境衛生組合負担金
- 道路網の整備
 - 8,178万円 町道改良、町道補修事業
 - 303万円 橋梁点検調査事業

■保健・医療・福祉が一体となった元気なまちづくり

- 健康でいきいきと暮らせるまちづくり
 - 1,244万円 各種検診事業(特定健診、各種がん検診等)
 - 858万円 新型インフルエンザ対策経費
- 安心して子どもを生育てられるまちづくり
 - 4,642万円 子ども手当支給事業
 - 431万円 妊産婦・乳幼児健診事業
 - 599万円 未就学児の医療費無料化事業
- 高齢者・障がい者福祉の充実と元気づくりの推進
 - 100万円 地域福祉計画策定事業
 - 100万円 療育児童通園交通費給付費
- 安心できる暮らしづくり
 - 1億3,625万円 南会津広域市町村圏組合消防費負担金
 - 3,074万円 非常備消防費(消防団経費)
 - 559万円 消防防災施設・機材等整備事業
 - 291万円 消防ポンプ操法大会参加事業
 - 161万円 安全施設設置事業(防犯灯)

■新たな産業と循環型社会を構築するまちづくり

- 誇りが持てる農業の振興
 - 2,108万円 中山間地等直接支払事業補助金
 - 2,700万円 県営中山間地域総合整備事業負担金
 - 105万円 通年栽培実証試験事業
- 豊かな森林を活かした林業の振興
 - 608万円 緊急雇用創出基金事業(林道補修)
 - 2,631万円 道整備交付金事業(林道整備)
 - 540万円 県営ふるさと林道緊急整備事業負担金(楢戸橋)
- 特色を活かした魅力ある観光の振興
 - 600万円 只見町観光まちづくり協会法人化支援事業
 - 423万円 緊急雇用創出基金事業(登山道整備等)
 - 2,102万円 フナセンター運営事業
- 産業間連携と産業おこしの推進
 - 1,000万円 コミュニティビジネスモデル支援事業

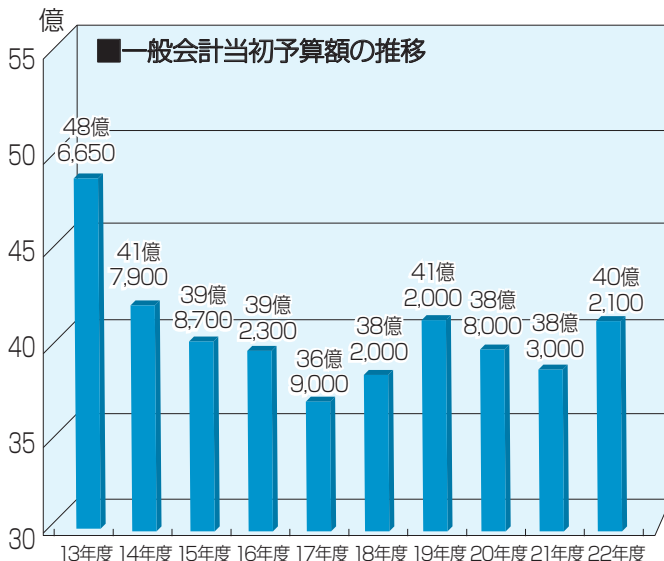
■教育、文化を大切にすまちづくり

- 広い視野を持ち地域を理解する人づくり
 - 190万円 只見学推進、地域人材育成事業
- 地域文化の振興(人の技・物・食の伝承)
 - 2,170万円 七十町遺跡発掘調査事業
 - 241万円 歴史資料・民族文化財整理活用事業
- 次世代を担う子どもたちの教育の充実
 - 177万円 小・中学校学力向上事業
 - 940万円 只見高校振興対策補助金

■特別会計予算

(単位：千円)

会計区分	22年度	21年度	増減率
国民健康保険事業特別会計	575,000	575,000	0.0%
国民健康保険施設特別会計	398,000	355,000	12.1%
老人保健特別会計	1,000	2,000	-50.0%
後期高齢者医療特別会計	120,000	121,000	-0.8%
介護保険事業特別会計	545,000	545,000	0.0%
介護老人保健施設特別会計	233,000	234,000	-0.4%
訪問看護ステーション特別会計	22,000	22,000	0.0%
地域包括支援センター特別会計	10,000	10,000	0.0%
簡易水道特別会計	126,000	98,000	28.6%
観光施設事業特別会計	36,000	33,000	9.1%
交流施設特別会計	51,000	110,000	-53.6%
集落排水事業特別会計	270,000	227,000	18.9%
朝日財産区特別会計	12,800	8,800	45.5%
合計	2,399,800	2,340,800	2.5%



一般会計 予算総額 40億



■町税の内訳

- 町民税…………… 1億3,739万7千円
- 固定資産税…………… 7億5,772万1千円
- 軽自動車税…………… 1,027万2千円
- 町たばこ税…………… 2,121万3千円
- 入湯税…………… 532万0千円

町民一人あたりにすると(3月1日現在人口)… 5,144人
 ■一般会計支出額(使われるお金の額)…………… 781,687円
 ■町税負担額(納めていただくお金の額)…………… 181,167円



▼朝日保育所 (3月26日)



～ 思い出を胸に新たな旅立ち ～ 小・中学校卒業式 / 保育所修了式



▲只見小学校 (3月23日)



▲只見中学校 (3月12日)



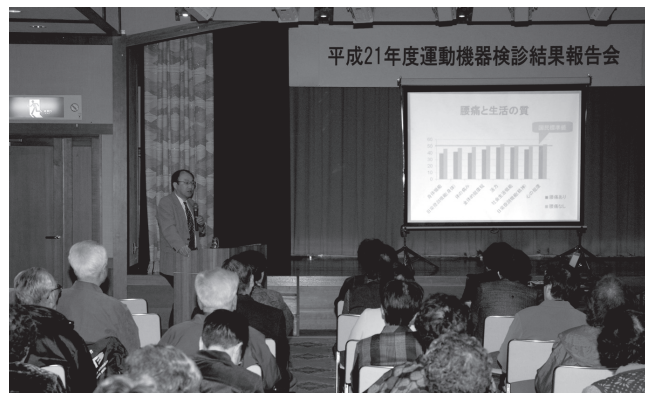
▲基調講演での増子輝彦経済産業省副大臣

自 運動器健診結果報告会 分のことを自分でできる楽しさをいつまでも

3月25日に季の郷湯ら里で、運動器健診結果報告会が行われ、約70名が参加しました。講師に福島県立医科大学医学部整形外科の大谷晃司先生を迎え、介護予防のための腰痛・膝痛予防対策について講演が行われました。予防対策で大事なことは自分の健康に関心を持ち、運動器健診や各種運動教室、介護予防教室などに参加することのことです。今年度も運動器健診は行われます。

人 奥会津活性化シンポジウム が住み、集まる魅力的な奥会津に

只見川電源流域振興協議会などの主催により、3月7日に季の郷湯ら里で、奥会津活性化シンポジウムが行われ、約270名が来場しました。電源立地町村の果たす役割と地域振興と題し、経済産業省副大臣の増子輝彦氏による基調講演では「全国の地域が競争の時代、ハンデを武器にして頑張ってもらいたい」と激励されました。同協議会では今年度から新たな「歳時記の郷・奥会津活性化計画」のもと、地域の特徴を生かした産業の創出に取り組んでいきます。



▲大谷晃司先生の話真剣に聴く参加者

「只見に学ぼう！」の力作がずらり

冬季講座作品展示発表会

3月20日に只見地区センターで、今年度の冬季講座で受講生が取り組んだ作品の成果を展示する発表会が行われました。取り組んだ講座は、「つる細工講座」「郷土料理習得講座」「パッチワーク講座」の3講座と、同地区センターで定期的に行われる「絵手紙教室」や「折り紙細工」の作品が1階フロアに展示されました。今回は、従来の展示・販売のほか、「つる細工づくり」「布端切れを使った小物づくり」などの体験コーナーもあり、楽しい一日となりました。



▲約60名の入場者でにぎわった展示発表会

芸 明和公民館まつり 能発表会で入場者からおしめない拍手

3月13日と14日の二日間、明和地区センターで、恒例の明和公民館まつりが行われ、延べ500名が参加しました。初日は、明和っ子料理教室で子どもたちが野菜ピザやカボチャドーナツ作りに挑戦したり、メンコやけん玉などの昔遊びや科学実験遊びを体験しました。また、参加者は介護予防に効果のある太極拳体操で体をほぐしたり、粘土細工でアクセサリを作りました。二日目に行われた芸能発表会では歌や踊り、落語などに拍手が送られました。



▲芸能発表会「還暦白波五人男（三九会）」



▲夢をあきらめないことの大切さを語る桑田真澄氏

水 トークセッション の郷只見から日本そして世界へ

電源開発株式会社の主催により、3月28日に季の郷湯ら里で、電源開発(株)取締役の田生宏禎氏と元プロ野球選手の桑田真澄氏によるトークセッションが行われ、300名を超える町民が来場しました。田生氏は田子倉発電所や町内にある発電所の概要などについて講演、桑田氏は少年時代からプロ野球選手となり活躍するまでの野球人生から学んだことや教訓を講演しました。その後、サインの書かれた色紙やボールの抽選会で会場は盛り上がりました。

な 朝日のいいもの集めちゃった市 つかしい「かたぬき体験」が子どもに人気



▲思わず大人も真剣な顔つきになる「かたぬき体験」

3月14日に朝日地区センターで、朝日のいいもの集めちゃった市が行われ約250名が参加しました。今年も運営スタッフとして只見中の生徒18名がボランティアで参加、イベントを手伝いました。2階ホールには各種講座で作製された作品や小学生の作品のほか、昭和36年から平成21年までの成人式の集合写真が展示され、参加者の視線が集中していました。最後はビンゴ大会で盛り上がりました。



ヴィッキーの
にっぽん紀行
Vol.16

Victoria・Potter
ウィクトリア・ポッター
・1980年生まれ。英国ノーリッチ出身。
・2008年8月から町英語指導助手。



只見の町を覆う雪も解け始めました。暖かな天気とセミの声が待ち遠しいです。私は夏に日本に到着したので、日本を思い浮かべたときは必ず夏の場面です。長い間只見を離れていた後なども、どうしても夏の日々の只見を思い浮かべてしまいます。きつと私の好きな日本の季節は「夏」なのでしょう。日本の夏はイギリスのものとは大きく違います。イギリスの夏は日本ほど暑くありませんし、そんなにセミもいません。日本を離れたとき、あのセミの鳴き声が恋しくなることでしょう。

そんなふうには暖かい日待ちわびながらも、雪を楽しんでいます。週末は未だスノーボード三昧です。おかげで、私でさえもコツをつかみつたあります(笑)。只見に来た友人の何名かと南郷スキー場に行きました。みんなそこにあるボードパークを楽しんでいました。私は未だ自分のボードと雪面の間に空間ができることが苦手で、より速く滑ることに磨きをかけています。上手な友人達はお互いに自分たちのジャンプや滑りを動画にとっていました。ボードより先に体の他の部分が地面に着くこともしばしばです。数週間前、福島県内のALTが猪苗代のスキー場に集まり、ボクサーランを行いました。ボクサーとはこの場合、男性の着着を意味します。つまり、下着だけを着用しゲレンデを滑走すると言うことです。今年は去年より多くの人が参加しました。そして去年の8月

に来日した多くのALTがボクサーランを経験しました。みんなこの日のために新しいカラフルな下着を準備しましたが、どこで見つけたのか紫のヒョウ柄のパンツをはいている人もいました。ゲレンデにいた他のお客さんは「何が起こったのか」「おかしなヤツらがやってきた」と思ったことでしょうか。イギリスに戻ったときに去年のこの写真を友人達に見せたとき「なぜこの人達はパンツ一枚でスキーを滑っているの?」と不思議がっていました。

先週、只見中学校の3年生の卒業式に参加しました。生徒がこの学校を巣立っていくことに大きな感動を覚えました。それぞれ別な学校に進学する生徒もおり、一緒に部活動などでがんばってきた仲間達と離れることになってしまいます。この学校を離れることは悲しいでしょうが、3年間過ごしたこの学校、先生方との信頼関係、みんなとの団結心がこれからの皆さんを支えていくでしょう。これから高校生活という新しいステージに向けて期待をふくらませていってほしいと思います。卒業生の皆さん、保護者の皆さん、ご卒業本当におめでとうございませう。高校でも元気に過ごして、勉強もがんばってください。来週は只見・朝日・明和の各小学校の6年生の卒業式です。こちらもご卒業おめでとうございます。新年度、皆さんと再びお会いできることを楽しみに待っています。

(訳・只見中・平野)

広報ただみ診療所

朝日診療所 所長 佐竹 秀一

「上手な時間外受診のしかた」

朝日診療所は皆さんもご存知の通り、只見町で唯一の医療施設です。病気が怪我に「休日」は無いため、夜間・休日といった時間外診療も引き受け、少しでも町民の皆さんが安心して暮らせるよう職員一同、日々がんばっています。

最近、休日・夜間に「定期薬を出してくれ」「何で検査が出来ないんだ」「日中は仕事があるから診察ろ」という方が少しいらつしやるため、今回は、「時間外受診」についての話をします(該当の人たち、読んでくれるかなあ?)。

休日・夜間に患者さんが来院すると、看護師から私たち医師宅に電話が来ます。その後診療所へ行き、患者さんが「手遅れにならない」ように診察を行います。

ここで大事なことは、あくまでその夜一日・休日の間、患者さんが重症化しないように診ている、ということです。薬局も閉まっているので満足な薬も処方できません(定期薬は出せません)。平日のようにレントゲン技師さんがいるわけでもありませんし、若松まで血液を送るような検査が出来てもありません(大きな検査は出来ません)。しかしながら命に関わる病気の診断のため、CTや簡易採血等は出来るようにしてあります。

診療所では、具合が悪い際にはま

ず電話で連絡してもらおうようにしています。看護師が症状を聞いたうえで、①今すぐ受診したほうがいいか、②大きな病院に直接行ったほうがいいのか、③待てるので日中・平日にきちんと検査をしたほうがいいのか、この①②③を医師と相談して返事をしています。

私たち医師は電話が来れば、寝ていても、食事・入浴中でも、子供が泣いていても診療所へ駆けつけます。患者さんが手遅れにならないように、と心配しながらです。もし「日中待たされるか?診てくれ」といった患者さんが多数夜間・休日に来院すればどうなるでしょうか?昼夜間わず診察を続けることとなり、おそらく医師はつぶれてしまいます(今のところ3人とも元気ですので心配しないでください)。

こういう話をすると「診療所には休日・夜間はくるな」と、とらえる人がいますが、決してそうではありません。困ったらまず診療所へ電話し対応を聞き、指示に従ってください。これが上手な時間外受診の方法です。

現在全国各地で「コンビニ受診」が問題となつています。今回、あえてこういった話をして皆さんに理解してもらおうことにより、一緒に診療所を有効利用していただけるのではないかと考えますので、ご協力をお願いします。

町史

とっておきの話

189

森林総合研究所 松浦俊也

山菜とキノコがもたらす森の恵み

山菜・キノコ採りは日本各地で古くから行われており、雪の多い東北や北陸地方で盛んなことが知られています。只見町は、広大なブナ林と雪食地形の草地・低木林がモザイク状に広がる豊かな自然環

境に恵まれ、とりわけ山菜・キノコが種類・量ともに豊かな地域です。町の皆さんがご存じのとおり、只見町は、かつては日本のゼンマイ市場価格を決めるほどゼンマイ採りが盛んでした。当時

比べて山菜・キノコ採りはずいぶん少なくなつたと伺っていますが、外から来た者から見ると、森林や草地などの自然環境が今でも日常的によく利用されていると感ずります。私たちの研究所では、環境省の研究助成を受けて、生物多様性（様々な動植物などの生き物がいて、それらがつながり支えあう生態系があること）が人々の生活にもたらす恵み（生態系サービスと呼ばれる）の大きさを調べる3年間の調査研究プロジェクトを2008年から只見町で行っています。このような豊かな自然の大切さは、あたりまえのことであるがゆえに、逆にこれまで日本各地であまり調べられてきませんでした。私たちが布沢地区と黒谷地区の全戸に配布したアンケートでは、多くの世帯（回答世帯の7割弱）が春の山菜採



▲只見町産のナメコ

りと秋のキノコ採りを頻繁に行っており、夏は溪流釣り、冬はいくつかの世帯の方々狩猟をされるといふように、現在でも一年を通じて自然環境を頻繁に利用している様子が捉えられました。また、両地区の計15名近くの方々から昨年の春から秋にかけて採取日誌をつけて頂いたところ、季節の移ろいに応じて様々な種類の山菜・キノコを採りに行かれていたことが分かりました。とくに、山菜採りでは溪流林や雪崩草地・低木林などの自然攪乱が生じやすい場所、キノコ採りでは老齢ブナ・ナラ林が、生育地・採取地としてとくに大切であることが分かりました。また、林道に車を停めて歩いて採取地まで出かけ、半日から一日で採取することが多いことから、日常的な山菜・キノコ採りなどのために林道を維持する重要性が分かりました。また、天然の山菜・キノコは、自家消費

や贈答、個人売買などが主で市場に出ることは少ないものの、潜在的には大きな資源価値があることが分かってきました。自然環境の特徴や持続的な資源利用のしかたを地域ごとに調べ、将来世代に伝えていくことは、とても大切です。私たちの調査はこれらのほんの一端を調べたものですが、只見の方々にも、只見以外の日本や世界各地の方々にも参考になるような成果をまとめられれば幸いです。



▲只見町産のゼンマイ

私たちが布沢地区と黒谷地区の全戸に配布したアンケートでは、多くの世帯（回答世帯の7割弱）が春の山菜採

りとは、多くの世帯（回答世帯の7割弱）が春の山菜採



町民文芸

只見短歌会

平成二十二年二月詠草

大塚栄一 指導

一年の計と決めたる新聞の社説を今朝も声出して読む

古川 英子

姉妹なきわれに情けか雛一体常に飾られし幼日忘れじ

吉津 政枝

苔覆ふ樹皮に染みつつ降る雨は雪に微かな色を残しぬ

目黒 富子

女孫よりもらひし薬飲み終へて味覚もどれば調理手伝ふ

皆川 恒子

忽ちに迎へし夫の三回忌雪の中ゆき寺にて済ます

五十嵐英子

隣家とわが家間の雪の嵩日ごと減りきて部屋のとどく

渡部ゆき子

従姉らと久々に会ひ話しめて子を待つ三時間束の間に過ぐ

五十嵐夏美

高齢化社会となれど金婚を迎へる人ら割と少なし

馬場 八智

見上げ居る風なき空に一本の飛行機雲は太くなりゆく

齊藤ちひろ

吹雪く中葬儀を終へし亡き母の二十三回忌は夢のごと過ぎし

渡部ヨリ子

野良猫の性か娘が拾ひ来し猫は未だにわれに懐かず

新国 洋子

(出詠順)

只見俳句会

三月例会

目黒十一 指導

邦男

朝の餉の落味噌香る月命日
初午や雪に埋もれし母の家

都

又壺歩

病院の妻を見舞えり春の雷
冬去れり天蚕の繭色褪せて

一穂

吉児

赤き靴左右違えて牡丹の芽
一芸は棒鱈煮染め曾孫来たる

洋子

隆堂

堀に沿い下萌見ゆる朝の雨
山峡の道ひとすじや雪解風

敦子

邦夫

沈丁のほのかな香り借り厨
ひいなの日華やぐナース・ステーション

郁子

笑羊

犬の乳歯ころんと抜けて戻り寒
買い求むケーキ持つてに春の雪

礼

康女

冴返る息かけて捺す認印
雪深し二の足を踏む小用足し

修一

リウコ

宅配の買物を待つ春日和
山肌の雪の亀裂や空の紺

一灯

除雪車に眠り覚まさる夜明けかな
燦々と春の陽射しや玻璃戸開け

今月のお知らせ

電話番号

総務企画課	
総務班	☎ 82-5050
	☎ 82-5210
企画班	☎ 82-5220
町民生活課	
税務班	☎ 82-5110
町民班	☎ 82-5100
保健福祉課	
保健班	☎ 84-7005
福祉班	☎ 84-7010
産業振興課	
農林班	☎ 82-5230
交流推進班	☎ 82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎ 82-5270
生活環境班	☎ 82-5280
会計室	☎ 82-5120
議会事務局	☎ 82-5300
農業委員会	☎ 82-5230
教育委員会	☎ 82-5320
学校給食センター	☎ 84-7180
只見保育所	☎ 82-2219
朝日保育所	☎ 84-2038
明和保育所	☎ 86-2249
朝日診療所	☎ 84-2221
(歯科)	☎ 84-2612
訪問看護ステーション	☎ 84-2130
	☎ 84-2101
こぶし苑	☎ 84-7005
保健福祉センター	☎ 82-2141
只見地区センター	☎ 84-2111
朝日地区センター	☎ 84-2111
明和地区センター	☎ 86-2111

RECRUITMENT

募集

JICA ボランティア

JICA ボランティアは、独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する国の事業として、現地の人々とともに生活しながら、発展途上国の国づくり、人づくりのために活動を行っています。みなさんのチャレンジをお待ちしています。

対象者

▽青年海外協力隊

(20～39歳)

▽シニア海外ボランティア

(40～69歳)

派遣期間

原則2年間

(シニアは1年派遣もあり)

応募期間

4月1日(木)～5月17日(月)

消印有効

募集説明会

▽日時 4月25日(日)

14時～16時

▽場所 会津若松市中央

公民館第2講義室

▽JICAの事業説明・現地

での活動ビデオの上映・ボランティア経験者の体験談など。どなたでも参加可能。入

場無料・参加申込み不要・入

退場自由。

●一日体験を開催

▽日時 4月24日(土)

10時30分～

▽場所 二本松青年海外協力

隊訓練所

▽語学訓練や異文化体験ワークショップなど。予約が必要。

▽問い合わせ

JICA二本松青年

海外協力隊訓練所

☎ 0243-24-3200

メール: jicanjv-bk@jica.go.jp

URL: <http://www.jica.go.jp>

LIFE

生活

自動車税の納期限は5月31日(月)です!

自動車税の納税通知書は5月7日頃にお送りしますので、金融機関等で5月31日(月)までに納めてください。なお、自動車税を納めたときの領収書には、自動車の継続検査用(車検用)納税証明書がついており車検時に必要となりますので、車検証と一緒に保管してください。

【積雪地域の軽減税率

特例措置の廃止について

福島県では、只見町に住所のある方など、これまで積雪によって一定期間自動車を運行できない地域を対象として自動車税の税率の特例措置を設けておりましたが、除雪体制の充実等により1ヵ月以上運行不能と

税 今月の納期

4月26日までに納めましょう

●固定資産税(1期)

●農集排使用料(4月分)

納期限を過ぎると、全額を減免することはできませんので御注意ください。

なお、平成22年4月1日以後に手帳の交付を受け減免の要件に該当することとなった場合には、翌年2月末日まで申請することにより、申請日に応じて月割により減免されます。

【身体障がい者等のための減免制度について】

福島県では、身体等に障がいのある方のために使用される自動車で一定の要件に該当するもの(※)については、納税義務者の申請により自動車税を減免しています。減免の対象となる障がいの範囲は、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の等級等により判断します。

平成22年4月1日現在で要件に該当される方は、身体障害者手帳等の関係書類を整えたいうえで、納期限(平成22年5月31日(月))までに最寄りの地方振興局県税部に申請してください。

▼問い合わせ

南会津地方振興局県税部

☎ 0243-1-6215212

「只見とつのおきの話」
が完成

只見町町制施行五十周年記念事業

この度、町制施行五十周年記念事業の一環として取り組んでまいりました「町史とつのおきの話」が「只見とつのおきの話」として完成しました。

本書は、平成6年から平成22年までの16年間「広報ただみ」誌上に掲載されたものを、執筆者各位のお骨折りにより一層読みやすく見ごたえのある内容に再編集したものです。

町内各世帯に1冊ずつ配布致しますが追加希望の方や町外者の方には有償で頒布も行います。購入方法は、お問い合わせください。

▼問い合わせ

総務企画課総務班

☎02441-8215050



悪質な訪問販売に
ご注意を！

訪問販売は販売員（セールスマン）が消費者の家庭や職場に訪れ、商品やサービスに関して説明を行い販売する商法です。訪問販売自体は違法ではありませんが、悪質な業者の中には存在しトラブルを起こすことも少なくありません。

「公的機関の名前を使って商品を買わせようとする」、「契約を急がせる」、「クーリング・オフなどがない」、「クーリング・オフなどはつきり書いていない契約書に署名・捺印をするように求めてくる」というような場合は悪質業者である可能性が高いので注意が必要です。

販売商品が必要のないものである時は、はつきり断りましょう。もし、契約してしまった場合は、クーリング・オフ制度で契約解除の手続きをしましょう。

クーリング・オフ制度とは、消費者がいったん申し込みや契約をした場合でも、契約の内容を明らかにした書面の交付を受けた日から一定期間は、消費者に熟慮期間を与え、冷静に考えた結果、必要ないと判断した場合には、消費者からの申し込み撤回や契約解除を認める制度で

町長室日誌
〈3月分〉

- 1日 只見高等学校卒業証書授与式、庁議
- 2日 町農業振興協議会、福島県土地連来庁
- 4日 只見ふるさとの雪まつり第3回実行委員会、庁議、小川集落座談会、「木の葉」代表来庁
- 5日 雪まつりミニ雪像コンテスト審査会、町国民健康保険運営協議会
- 6日 まちづくりフォーラム出席
- 7日 歳時記の郷・奥会津活性化シンポジウム
- 8日 町消防団長来庁、町土地改良区理事会、(株)観光まちづくり協会設立総会
- 10日 3月定例議会開会
- 12日 只見中学校卒業証書授与式
- 13日 明和公民館まつり、町文芸コンクール表彰式及び芸術・文化賞・スポーツ優秀選手賞表彰式
- 18日 雪まつりミニ雪像コンテスト表彰式
- 21日 奥会津五町村活性化協議会臨時総会、奥会津シンポジウム
- 23日 只見・朝日・明和小学校卒業式、神奈川大学法学部長来庁
- 24日 町老人クラブ代表来庁
- 25日 湯ら里役員会
- 26日 昭和村出張、町土地改良区理事会総代会
- 28日 電源開発(株)田子倉電力所運行開始50周年記念事業及び只見町町制施行50周年記念協賛トークセッション「水の郷只見から日本そして世界へ」
- 29日 只見・朝日・明和保育所連絡会、社会福祉法人南会津会評議員会、同理事会、只見高等学校送別会
- 31日 町職員退職者離任式



▼問い合わせ

福島県消費生活課
(消費生活センター)

☎0244-521-0999

総務企画課総務班
☎02441-8215050

歯科医師
紹介



齋藤 さゆり(朝日診療所)

4月1日より診療しています。
よろしくお願ひいたします。

町職員の新規採用・退職

■新規採用町職員(4月1日付)

- ▷産業振興課農林班
(併)農業委員会事務局 湯田 誉史
- ▷教育委員会生涯学習班
(兼)学校教育班 大竹 隆二
- ▷町民生活課税務班 五十嵐彩香
- ▷保健福祉課保健班 渡部由香里
- ▷保健福祉課保健班 堀金 俊也

■退職町職員(3月31日付)

- ▷山内 幸三(総務企画課)
- ▷佐藤 孝輝(会計室)
- ▷渡部周一郎(環境整備課)
- ▷五十嵐仁一(環境整備課)
- ▷渡部千重子(只見・朝日保育所)
- ▷藤田 信子(保健福祉課)

町民の消息

(3月1日~3月31日届出分・敬称略)

■お誕生おめでとうございます

梁取 蘭 (女/ 守・智美) 坂田
 矢沢 博哉 (男/ 忍・由唯) 只見
 鈴木 雛乃 (女/ 聖・美穂) 只見
 小沼 結心 (男/ 和・人・康子) 只見

■ご結婚おめでとうございます

会津美里町 野中 智之♡福井 三瓶 聡子
 黒谷 矢沢 愛樹♡大倉 飯塚ナナミ

■おくやみ申し上げます

三瓶 源市	83才	寄	岩
小沼 夕工	81才	黒	谷
川原田 光	92才	小	林
星 孝一	98才	荒	島
梁取 惣一	74才	大	倉
五十嵐 アサカ	86才	福	井
渡部 正	85才	小	川
三瓶 正昭	72才	大	倉

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成22年3月1日現在

人口	5,014	(-5)
男	2,385	(-3)
女	2,629	(-2)
世帯数	1,894	(-3)
高齢化率	41.4%	

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 8 転出 6 出生 1 死亡 8

た輝上努生思の▽るまだけはる田た▽
 トゆかがる力活い努力の体ことら行ものト3
 ークまがるがでのや力力やの、動、の、ク28
 でぬいあるのやががや技術、に、に、日、
 した。努力の積やああ、術、起、起、の、
 の栄ネる。みあれば、を、上、上、上、湯、
 力の光ル。▽重いさ、を、上、上、上、湯、
 の数ギ▽重いさ、を、上、上、上、湯、
 の結は失ねに、人、に、に、に、湯、
 晶々は敗か、影、日、日、日、湯、
 とも努から影、日、日、日、湯、
 感じ力。起、影、日、日、日、湯、
 したの▽きの

あとかぎ

地区センター長
馬場 博美

只見地区センター
図書館 ☎ 82-2141

おすすめ新着図書

★コロヨシ！！



三崎亜紀／著 (角川書店)
 競技は「掃除」！向かうは「国家」！?200X年、掃除は日本固有のスポーツとして連綿と続きつつも、何らかの理由により統制下におかれていた——どこにもない「王道」しかも「熱血」！奇才三崎亜紀が真っ向勝負で挑む、新世代のスポーツ小説！！

★まるまれアルマジロ 卵からはじまる5つの話



安東みきえ／著 (理論社)
 卵があった。だちょうが産んだ卵だった。しかし何日たっても孵らなかった。死んでしまったことを悲しみ続ける母親を見て、父親は代替りのものを探す…。幸せに必要なものとは？表題作を含む全5編の短編集。

★図書室に関する要望や購入図書の希望など、お気軽にお寄せください。

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

町民憲章

第38回只見ふるさとの雪まつり フォトコンテスト入賞作品

只見町長賞

「願いを込めて」
佐野 義雄（東京都 足立区）



ティーエヌアイ工業(株)社長賞

「姉妹」
久保 泰男（埼玉県 狭山市）



※この広報紙は再生紙を使用しています

審査員特別賞

「勢揃い」
井戸沼 基範（西白河郡 矢吹町）



※環境にやさしい大豆インキを使用しています

イベントカレンダー

4月

- 17日（土）「河井継之助記念館オープン」
- 20日（火）「会津只見考古館オープン」
- 24日（土）「歳時記念館オープン」
- 25日（日）「要害山トレッキング」

5月

- 1日（土）
「青少年旅行村・いこいの森
&只見そば道場オープン」
- 1日（土）～5日（祝）
「風つこ会津只見号運行」
- 22、23日（土、日）
「SL会津只見新緑号運行
会津若松―只見（二日一往復）」

6月

- 6日（日）「山の幸山菜まつり」
「蒲生岳山開き」
- 13日（日）「会津朝日岳山開き」
- 20日（日）「只見湖岸健康マラソン&
ウォーキング大会」
- 27日（日）「浅草岳山開き」

▼これからの季節は只見駅の中において、ふきのとう、切干大根なども販売する予定です。町民の皆さんも出品してみませんか。詳しくは、お問い合わせください。

▼問い合わせ

只見町観光まちづくり協会
☎0241-82-5250
営業時間 午前8時半～午後6時